

## 第42回 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」結果概要

○日 時 令和7年10月23日（木）午後3時00分～午後4時00分

○場 所 宇都宮市役所 14階 大会議室

○内 容 1 開 会

2 あいさつ（森本委員長）

3 議 題

- ・ 「軌道運送高度化実施計画（案）」について
- ・ 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」における今後の取組について

4 そ の 他

5 閉 会

### 【会議結果】

3 議 題

- ・ 「軌道運送高度化実施計画（案）」について

【各委員，了承】

- ・ 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」における今後の取組について

【各委員，了承】

## 【主な発言の要旨】

### 5 議 題

- ・ 「軌道運送高度化実施計画（案）」について・・・資料1

#### 【事務局】

- ・ 資料1説明

#### 【森本委員長】

- ・ 委員の意見を伺う前に、「交通結節点等基盤整備部会」の部会長である岸井委員と、「L R T 整備効果検討部会」の部会長である長田委員から補足等あればお願いする。

#### 【岸井委員】

- ・ 交通結節点等基盤整備部会では駅西側への延伸に向けて、整備区間や停留場位置、軌道の線形、道路空間の再編について検討してきた。
- ・ 需要の予測結果が出てきたので、それに伴い車両の編成数や留置施設の規模についても検討してきた。
- ・ それらの検討に併せ、より質の高い公共交通ネットワークを実現するために乗り継ぎの在り方やバス路線の再編、交通結節点のまちづくりについても引き続き検討を進めている。
- ・ 今事務局より説明があった「軌道運送高度化実施計画」については、交通結節点等基盤整備部会を中心に資料を作成してきたが、ぜひ様々な観点からご意見を頂戴したい。
- ・ また、引き続き交通結節点の周辺は、特にまちづくりとの連携を図っていくことが大きな課題である。
- ・ 最後に紹介があった都市計画の素案について、素案が公表されれば周辺のまちづくり、特に駅周辺をどうしていくのかが大事だと考えているので、引き続き実施計画に関するご意見とまちづくりに対するご意見を頂戴したい。

#### 【長田委員】

- ・ L R T 整備効果検討部会では、ライトラインの駅西側整備において、どのような整備効果が発現されるか検証してきた。
- ・ 今回、駅西側を整備することで発現される効果を貨幣換算して、交通結節点等基盤整備部会で議論いただいた直接効果とあわせて費用便益費を算出した。

- ・ 本委員会において、間接効果についてもご意見を賜りたい。

#### 【森本委員長】

- ・ 直接便益と間接便益を組み合わせで今回集計していて、それを「宇都宮M o d e l」という呼び名でこれから外に向けて発信していく。
- ・ 間接便益について、今回固定資産税の増収と医療費抑制の2点のみを積み上げた。
- ・ それ以外の項目も多くあり、今回は最小限に絞っているところである。
- ・ そのほかの間接便益について、事務局としてこれからどのように議論していくのか方向性を教えてほしい。

#### 【事務局】

- ・ 項目については、L R T整備効果検討部会で40項目以上設定しこれまで検討をしてきた。
- ・ 貨幣換算可能なものは5項目程度あると議論してきて、その5項目については引き続き検証するとともに、それ以外の項目についても貨幣換算可能かどうかを検証していきたい。
- ・ 駅西側は中心市街地を貫通していく路線になっていくので、駅東側とは異なる駅西側特有の効果についても検証して、より深い議論を進めていきたい。
- ・ その効果について、市民の皆様に関わりやすく示していく取組についても検討していきたい。

#### 【森本委員長】

- ・ 国でも間接便益は認める方針で様々な検討がされていると聞いているので、ぜひ宇都宮がその突破口の一つとなり、他地域にも展開できるようエビデンスの整理をしっかりとっておいてほしい。

#### 【行政アドバイザー】

- ・ 12ページに関連事業の主な進捗状況とあるが、ライトラインを整備していくことにより、沿線だけでなく周辺地域全体に様々な良い効果が出てくるはず。
- ・ そのあたりについては、まちづくり部会で検討していると思うが、より良いまちづくりに向けて計画を検討していただければと思う。

### 【事務局】

- ・ 「軌道運送高度化実施計画」については、事業の軸の部分をつくってきたところであり、それと併せてその効果を最大限発揮するためにどうしたらよいか議論が必要と考えている。
- ・ また、交通結節点の整備やバス路線再編、沿線土地利用の高度化をどう図っていくかなども具体化していくことが必要と考えているので、今後、頂いた意見を参考にしながら検討していく。

### 【行政アドバイザー】

- ・ 費用便益比の話があったが、これだけの事業費をかけて整備するものであるため、工法の工夫や新技術などを積極的に活用してコスト縮減に努めてほしい。
- ・ また、土木費のうち、地下埋設物の移設費は占用事業者と協議しながら精度を高めているとの話があったが、工事の前には可能な限り丁寧に事前調査を実施するなど、事業費が膨らむような要素をできる限り抑えるなど、コスト縮減の意識を持っていたきたい。
- ・ 基幹公共交通、重要な社会基盤として後世に残る誇り高いものにしてほしい。

### 【事務局】

- ・ コスト縮減については意識をしながらやっていきたい。
- ・ 今後、詳細設計を進めていく中で、様々な工法の比較検討を行いながら工夫できるものは工夫するよう検討を進めていき、その事業効果を最大限発揮させるために、引き続き検討していく。

### 【森本委員長】

- ・ その他ご意見なければ、原案にご了承いただいたということでよいか。

### 【各委員 了承】

- ・ 「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」における今後の取組について・・資料2

【事務局】

- ・ 資料2説明

【岸井委員】

- ・ 整備効果を高めていくためにも、ライトライン本体のデザインと周辺のまちづくりが一体となることが重要である。
- ・ ライトラインの停留場のデザインや、周辺のまちづくりと停留場の関係について、相互にどのように折り合いがつけられるかを検討しなければならない。
- ・ 今回は既成市街地にライトラインが走っていくので、宇都宮のシンボルとして、その風景が多くの方に愛されるように、ライトライン本体のデザイン、あるいは周辺のデザインを一体的に考えられるような体制をぜひお願いしたい。

【事務局】

- ・ そのような視点での検討が必要と考えており、特に駅西側の延伸に併せ、駅東側と違った検討項目も出てくると考えられるため、それにあわせた検討体制をつくりながら整備効果を最大限発揮できるような施設整備の取組みを進めていきたい。

【森本委員長】

- ・ 以前に駅まちデザインの検討会を国でやらせていただいた。
- ・ 駅まちデザインというと鉄道駅を想定するケースが多いが、今回の場合はライトラインの電停周辺を同じように駅まちデザイン的な考え方で、どのようなまちづくりができるのかを前向きに考えていただきたい。
- ・ また、国が示したデザインの手引きの中にもいくつか方法論やキーポイントなどもあるので参考にしながら進めていただきたい。
- ・ 一つ確認になるが、今日のまとめの中で部会が5つあって、5つが適材適所で動いているところであるが、基本的にはこの部会をベースにしながら拡充をしていくようなイメージで、特段再編等は現時点では考えていないということで良いか。

**【事務局】**

- ・ 現時点において、車両部会、デザイン部会はしばらく開催していない状況であるが、それらについてはもう一駅度西側の作り込みをこれからしていく中で、再開していくような取り組みを考えていきたい。
- ・ ベースとしてはこの5つの部会としながら、検討内容に応じてメンバーの拡充等について考えていければと思っている。

**【森本委員長】**

- ・ 駅東側で先行的に初めて作るときに設置した部会ではあるが、当然、駅西側でも同じような部会が必要であると。一方でまちづくり部会っていうのはこれからますます重要な位置付けを占めると思うので、皆さんと議論しながら進めていただければと思う。
- ・ その他ご意見なければ、原案にご了承いただいたということでよいか。

**【各委員 了承】****【森本委員長】**

- ・ 以上で、本日の議事は全て終了した。
- ・ 最後に、田中副市長から良ければ一言お願いします。

**【田中副市長】**

- ・ 今回、「軌道運送高度化実施計画」を申請させて頂くということで、改めて正式に市として意思表示を行うということになる。
- ・ 駅東側の成功した姿をみて、市民の皆様の期待も高いわけですが、西側の延伸に向けて一層効果も高まっていくようなライトラインとまちとの連携という話もあったが、そういったところも含めしっかりと取り組みたい。
- ・ 併せて、効果の発信のところでB/Cの話もあったが、直接効果だけでなく間接効果のところでしっかり発信していく。
- ・ 期待が高い中でも懸念されている方もいると思うので、丁寧に説明しながら駅西側への延伸に向けての取り組みを着実に前に進めていきたいと考えているので、引き続き、皆様のご協力を頂きたい。

**【森本委員長】**

- ・ 最後に私のほうから一言お願いを申し上げる。
- ・ 今回で第42回を迎える「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」について、1回目から座長を務めさせていただき、これまで紆余曲折あったが、東側の時を思いだすと、この「軌道運送高度化実施計画」は大きな山場であったと記憶している。
- ・ 今日、皆様に原案を認めていただいたので、そういう意味では西側延伸に向けて大きな一歩を踏み出せたと思っている。
- ・ 一方で課題もいくつかあると理解しており、1つは実施計画の数字が独り歩きしたりしていて、市民にきちんと理解してもらえるかどうかはまだまだ課題である。
- ・ 駅東側の時もそういった議論の中で皆様からいくつか課題をいただいたが、ぜひとも駅西側の整備にあたっては市民の皆様にも今回の検討内容も踏まえてよりわかりやすく示す努力をしていただきたい。
- ・ それに関連して紙媒体の数値はなかなか見てもピンとこないのも、最近はCGや動画など様々な手段もあるので、十分に駆使していただいて、今回の「軌道運送高度化実施計画」の内容について、市民がまちのイメージをすることができるようになればシビックプライドの醸成にもつながる。
- ・ 岸井委員からご指摘もあったようにまちづくりと連動しなければ効果は半減どころか、極めて弱くなるので、駅東側と異なり駅西側はまちづくりと強く連携しながら、現在中心市街地の中でまちづくりを一生懸命やっている団体と密接に連携しながら進めていただきたい。

**4 その他**

**【森本委員長】**

- ・ 最後に、事務局から連絡事項などがあればお願いします。

**【事務局】**

- ・ 次回の検討委員会については、後日、改めて案内させていただく。

**【森本委員長】**

- ・ 進行を事務局にお返しする。

**【事務局】**

- ・ 以上で、本日の会議を終了する。